



いすいすいコーン



白い実が特徴のスイートコーン。「白雪姫」と名付けた



初収穫する日出直販協議会長の安部敏彦さん＝日出町藤原

白雪姫初の収穫

【日出】新たな日出町の特産品を作ろうと、町内の農家5人が白い実が特徴のホワイトスイートコーンの栽培に取り組んでいる。部会を立ち上げ、昨年から試験栽培。今季、初収穫、出荷を迎えた。

日出の新たな特産品に

部会の発起人はJAべつふ日出直販協議会長の安部敏彦さん(66)＝藤原。同JAの直売所は近年、集客が課題となっている。15年ほど前からスイートコーンを栽培しており、流通量の少ない白い品種をブランド化することで、活気を取り戻せないと考えた。知人に声を掛け、今年3月に種をまいた。

栽培する品種は「クリスピーホワイト」。生で食べ

られ、果物のように甘い(糖度16度程度)という。ブランド名は「白雪姫」と名付

けた。

6月27日、安部さん方の畑(500平方メートル)で初収穫をした。夜間に糖分を蓄

(吉止啓貴)

えるため、午前5時ごろから作業を開始。実が見えるよう、余分な葉を取り除き、袋に詰めた。他の生産者が収穫したものと合わせて約40袋(個人入り)を同JAの農産物直売所「旬の館日出店」(日出)に出荷した。安部さんは「植えたほとんどが無事に収穫できる予定。甘くておいしいコーンを多くの人に食べてほしい。人気があれば量を増やしたい」と話している。

7月上旬ごろまで、毎朝収穫し、直売所に並べる予定。1袋300円。問い合わせは安部さん(☎090・86661・4028)。

日出町内の農家5人が白い実が特徴のホワイトスイートコーンの栽培に取り組んでいます。

①部会発起人の安部敏彦さん(66)がホワイトスイートコーンの栽培を思い立ったのはなぜでしょう？

流通量の少ない白い品種をブランド化することで、集客が課題となっている直売所に活気を取り戻せないと考えたから。

②栽培する品種とブランド名は何ですか？

品種は「クリスピーホワイト」、ブランド名は「白雪姫」。

③初収穫した安部さんは何と話していますか？

「植えたほとんどが無事に収穫できる予定。甘くておいしいコーンを多くの人に食べてほしい。人気があれば量を増やしたい」

④見出しの〇〇〇に言葉を入れてください。

特産品